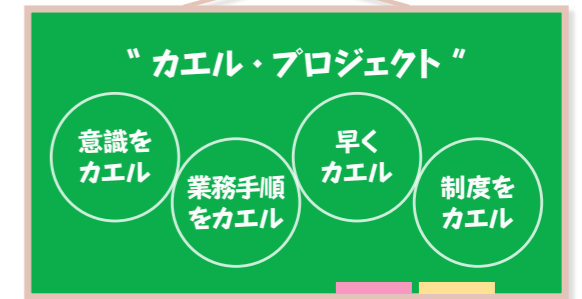


働き方改革 “カエル・プロジェクト” 進行中

当行では、多様な働き方へ対応するため、仕事と家庭の両立が可能となるよう柔軟で選択肢の多い職場環境の整備を進めています。今後、育児や介護などさまざまな事情を抱える人が増えるなか、「誰もが、場所を選ばず働ける職場環境づくり」は欠かせません。また、地方銀行として地域全体の働き方改革へ積極的に関与することで、地域活性化につながる役割も果たしています。



在宅勤務の試行開始 ～場所を選ばない働き方の提供～

在宅勤務試行の背景

<両立支援の側面>

育児や介護など、時間制約のある従業員の増加が予想されます。育児は終わりがありませんが、介護は終わりが見えにくく、年齢的にもキャリアのある従業員が直面する機会が増えていきます。時間制約のある従業員は、従来の働き方を見直さざるを得なくなり、働き方の選択肢が少ない場合は、離職するケースも発生してきます。これらの課題の顕在化に備え、多様な働き方をする従業員が、ほかの従業員と遜色なく働き、十分に実力を発揮できる職場環境の構築をめざしています。

<生産性向上の側面>

限られた時間のなかで最大の成果を出すためには、業務によっては在宅勤務を活用し、集中できる環境で業務を行うことで、効率性が高まります。限られた時間で効率よく働くツールとして提供することもねらいとしています。



制度利用者の声

自宅でタブレット端末を活用し、資料作成やメールの確認を行いました。

この日は、自宅近くの店舗への出張があり、在宅勤務と自宅からの直行直帰を活用

し、移動にかかる時間を短縮することができました。在宅勤務活用により、「電話や他者との会話による仕事の中断がなく集中でき、効率性が高まった」だけでなく、「始業前の時間に子どもの着替えや朝食の面倒がみられた」ことで、育児との両立にも可能になり、「イクメン」に1歩近づくことができました。



地域の働き方改革活性化に向けて

働き方改革ネットワークの構築



2017年7月に、県内で働き方改革に積極的に取り組む企業間でネットワークを構築し情報交換会を開催しました。各社の取組み施策を共有し、相互研鑽を図ることで県内の働き方改革の風土醸成につなげました。

働き方改革ベストプラクティス賞受賞



働き方を見直し、誰もが働きやすい職場環境づくりに向け、ワークライフバランス推進に取り組む県内48社のなかから、当行のカエルプロジェクトおよび働き方改革ネットワークの活動が評価され、「みえの働き方改革推進企業」知事表彰において、ベストプラクティス賞（最高位）を受賞しました。

県内企業の働き方改革推進支援



中小企業経営者、人事労務責任者を中心に「働き方改革セミナー」を開催しました。セミナーでは、三重県知事による講演などを実施し、県内の働き方改革の風土醸成を促しました。

セミナー後半では、三重県庁や三重労働局の担当者をアドバイザーに迎え、働き方改革に関する分科会を開催し、課題解決に向けた意見交換会を実施しました。



<働き方改革分科会の様子>